

## 第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

### ①第三者評価機関名

公益社団法人 福岡県社会福祉士会

### ②評価調査者研修修了番号

SK18170、07-003

### ③施設の情報

名称：和白青松園		種別：児童養護施設
代表者氏名：酒瀬川 秀穂		定員（利用人数）：60名
所在地：福岡県福岡市東区三苫2丁目30番1号		
TEL：092-606-2109		ホームページ： <a href="http://www.fswg-seishoen.jp/">http://www.fswg-seishoen.jp/</a>
【施設の概要】		
開設年月日：昭和21年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 福岡県社会事業団		
職員数	常勤職員：37	非常勤職員：18名
有資格 職員数	里親専門相談員1名	家庭支援専門相談員2名
	個別対応職員1名	心理士4名
	社会福祉士2名	社会福祉主事11名
	保育士19名	調理師4名
	教員4名	栄養士1名
施設・設備 の概要	(居室数)：9ホーム	心理療法室
	小規模GH 2棟	体育館
	地域小規模施設2棟	
	ホール グランド	

### ④理念・基本方針

<p>1 基本理念 児童一人ひとりの立場に立って人権を擁護、尊重し最善の福祉サービスを提供する事を目指します。</p> <p>2 基本方針 人権尊重を擁護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し、明るく健やかに日常生活を送れるように温かい環境づくりに努力する。(家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)</p>
---

## ⑤施設の特徴的な取組

2つの小規模児童養護施設、6つの小規模グループホームを運営し、生活単位の小規模化を図り、より家庭的な環境での支援を目指している。また心理士を常勤1名非常勤3名の4名体制にし、すべての入所者に心のケアができるよう努めている。また各部屋3名の職員を配置しており、複数の勤務体制ができるように努め、個別対応の機会を増やしている。今年度4月より一時保護専用施設クローバーを開設し、様々なケースの一時保護の受け入れを児童相談所と連携しながら行っている。

## ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年8月1日（契約日）～ 令和2年2月21日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年1月（平成28年度）

## ⑦総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1 活発な地域交流と施設を提供しての地域への貢献について

○地域への施設提供と交流が活発で、体育館のスポーツ等、住民使用やグラウンドの地域小中学校の使用や地域のゲートボール愛好者へのグラウンドの使用などを提供して地域に貢献しています。

#### 2 家庭的養護推進に対する取組について

○特に高校生以上の自立支援に力が入れてあり、地域小規模児童養護施設も、2か所設置されています。基本的に全員に個室がありプライバシーが守られています。子どもの意向を尊重した自立支援が行われています。

#### 3 安全管理体制の構築と心理職の配置について

○施設内の安全と健康管理のため、衛生委員会が定期的開催され、産業医を中心として、施設全体の安全対策に取り組まれています。

○心理士が4名（正規1）配置され、子供の様々な問題に対して手厚い対応がされています。自立支援計画に基づき、心理士による治療プログラムが組まれています。

#### 4 小規模施設による安全体制と心理ケア体制への取り組みについて

○職員が施設小規模化で分散していますが、小規模施設やグループホームの担当職員は本部職員との連携のもと、子どもの暴力事案などに対処しています。

○心理士が4名配置され、子どもの悩みや様々な問題に取り組んでいます。また、性教育に対する取り組みや自立生活に向けた支援が行われています。

◇改善を求められる点

1 感染症対策について

○嘱託医や医療関係者の協力を得て、感染症対策防止マニュアルはありますが、看護師など衛生管理の専門家の意見を取り入れること等が期待されます。

2 中長期計画と単年度計画の連動について

○事業計画と予算については、適宜必要な見直しが行われていますが、単年度計画の数値目標と中長期計画の数値を連動させることが望まれます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回も第三者評価を受け、改善を求められる所をご指摘いただき、実効性のある取り組みや事故などの未然防止についてはまだまだ不十分であり、改善の必要性を感じました。また、地域との交流、貢献について評価をいただいたことを、今後も『地域の中で共に育つ施設』として取り組んでいきたいと思えます。また、心に様々な思いを抱えた子どもたちが増えている中で、引き続き心理士との情報共有や連携に力を入れ子ども達の支援にあたりたいと思えます。

感染症対策について、産業医からの情報を毎月衛生委員が取り入れています。常勤看護師についての採用も今後考えていきたいと思えます。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

## 第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 25 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
〈コメント〉 ○理念・経営方針は、施設内のパンフレットやホームページ、及び職員会議等で周知されています。 ○周知状況の確認が不十分であり、子ども達の全体会等で、わかりやすい表現を用いて知らせることや保護者に周知するための取り組みが望まれます。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
〈コメント〉 ○児童養護施設の利用目的の多様化に柔軟に対応されており、また、家庭的養育と小舎制の導入などニーズに即した取り組みをされています。 ○地域の福祉ニーズの把握や分析を進め、事業計画に取り入れられる事を期待します。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
〈コメント〉 ○管理職や理事等役員は、経営状況や改善すべき課題を十分に把握されています。 ○事業計画や財務状況の、職員への周知を行われ、職員一体となった経営課題への取り組みが期待されます。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○中・長期計画は経営状況に鑑み、随時見直しが行われており、具体的内容になっています。</p> <p>○さらに長期ビジョンとのすり合わせが行われると、より明確な内容になるでしょう</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○事業計画と収支予算については、適宜必要な見直しが行われています。</p> <p>○収支を反映した単年度の数値目標の明確化が望まれます。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○事業計画は、定められた時期にPDCAサイクルにより計画的に定められています。</p> <p>○事業計画の年度末見直しが、充分とは言えない状況ですので、職員会議等で周知や見直しが望まれます。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○事業計画が作成され、夏休みの過ごし方など、保護者に通知されており、子ども達にも掲示等で周知されています。</p> <p>○子ども達への理解を促すために、イラストを用いるなど、わかりやすい表現が望まれます。</p>		

### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○養育・支援の質の向上を目指して、自己評価チェックリストで点検が行われています。</p> <p>○第三者評価受審後の反省会や話し合いの機会を設けることが望まれます。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○第三者評価の結果については、職員会議などで報告がなされています。</p> <p>○課題については、改善に向けて検討を重ね、明文化や数値化を行い、計画的な取り組みが望まれます。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設長の責任と役割が、全職員に周知されており、会議等でもリーダーシップを発揮されています。</p> <p>○施設長の責任と役割を明文化されることが望まれます。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設長は、積極的に法令順守に関連する会議に出席されており、周知のための会議に出席できるよう、職員の勤務調整なども配慮されています。会議録も常に閲覧できるようにされています。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設長は、支援の質の向上に目を配られ、不登校児童などの案件には、必要に応じて、学校との調整や保護者面談などを行われ、職員研修の充実も図られています。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設長は、経営改善の実効性を高めるために、人事管理を行われ、職員の働きやすい環境の充実に向けて努力されています。</p> <p>○職員の採用人材が集まりにくい中で、専門性を補う工夫が望まれます。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○福祉の業務に従事する人材の不足と、確保の難しさは、全国的な問題ではありますが、ハローワークや福祉人材センターなどを通じ、専門職の採用に努力されています。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設長その他の管理職が定期的に職員面談を行われており、昇給や育児休暇の取りやすい環境づくり、残業時間の削減に配慮されています。</p> <p>○人事基準の明確化と目標管理、キャリアパス、職員配置に関して、さらなる改善を期待します。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○年2回の健康診断、ストレスチェック、ハラスメント防止や産業医との面談が行われており、家庭をもつ職員が気兼ねなく、家庭との両立がしやすい、働きやすい職場環境づくりに努められています。</p> <p>○働きやすい仕組みづくりの促進のために、相談窓口を明確にし、組織的に問題解決に取り組む体制づくり望まれます。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○職員との面談は定期的に行われており、個別の目標や方針は理解されています。</p> <p>○職員個別の目標は設定されていますので、その目標に近づけるように、進捗状況などを確認されることが望まれます。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○月に一度、外部スーパーバイザーに依頼され、事例検討を行いフィードバックが行われています。</p> <p>○事例検討などを通じて、評価見直しを行われる事は重要です。スキルアップや専門資格の取得につなげると共に、研修計画の明文化が重要です。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○全職員に、研修の機会を与えられており、自己点検チェックを3か月に1度行われ、養育・支援の振り返りをされています。研修後は報告も行われています。</p> <p>○研修に参加することで、現場が人手不足になる場合もあるため、ゆとりのある勤務体制の確保が望まれます。</p>		
<p>II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○実習生については、担当指導者を決め、事前面談や施設概要、実習のしおりを作成し、養成校の先生とも連携を図り、効果的に実施されています。</p> <p>○実習指導者研修を一定数の職員に受講してもらい、受け入れ態勢の充実が期待されます。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○ホームページや定期的な広報誌を通じて、運営情報の公開が行われています。</p> <p>○広報用の新聞「松ぼっくり」を地域や関係機関に配布して、運営の透明性を担保しています。</p>		
22	<p>II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○福岡市の法人監査を年に2度行われ、公正かつ透明性が図られています。指導事項にも迅速に対応されています。</p> <p>○外部の専門家による監査支援が行われておらず、ガバナンスの強化や財務規律の確立のために、会計に関する専門家を活用することが勧められます。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○地域の学校との連携はスムーズに行われており、特に、育成会や子ども会にも参加され、地域交流を積極的に行われています。</p> <p>○地域交流について明文化されていませんので、基本的考え方を文章化されることを望みます。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○OPTA 活動や地域の役員を通じて、ボランティアなどの受け入れを行われており、登録カード（学習ボランティア等）で管理されています。学校などの要請により、出向いてのボランティア養成講座も行われています。</p> <p>○さらなる受け入れ体制の強化を図るためにも、地域交流を進めるとともに、職員への事前の情報提供や研修が望まれます。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○社会資源マップを活用され、PC 日誌を使って職員に周知や説明をされています。学校や児童相談所、医療機関とも協働し、問題解決に向けた取り組みがなされています。</p> <p>○退所後のフォローアップも職場・学校・訓練所と連携を図られています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○児童問題の専門家としての認識をふまえて、町内会の運営委員会にも参加されるなど、地域福祉のニーズや生活課題の把握に努められています。</p> <p>○今後も、施設の機能を生かした地域貢献やニーズに対応したサービスの策定を期待します。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○地域のお祭りや運動会への参加など地域との交流を積極的にされています。施設の多目的ホールでは、敬老会やバザーなどが行われており、運動場や体育館は、災害時の緊急避難所として常時開放されています。</p> <p>○福祉ニーズの把握を行い積極的に地域貢献されることが望まれます。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子ども達の支援や行事に対する希望を把握するために、各部屋に意見箱を設置されています。権利ノートを活用するなど、子ども達の意向を尊重し、共通理解に努められています。</p> <p>○養育マニュアルはあり、活用されていますが、養育・支援の実施に関するケア基準等や規定を策定する取り組みが望まれます。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○基本的に、子ども達には個室が与えられており、プライバシーは保護されています。但し、鍵は設置されていないため、必ずロックをするようにされています。</p> <p>○プライバシー保護に関する規定やマニュアルが整備され活用されています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設パンフレットには、養育・支援や福祉サービスを利用するために必要な情報を載せられており、見学も常時受けられています。図や絵も使用しわかりやすい表現に努められています。</p> <p>○保護者には、機関紙「松ぼっくり」で、養育・支援に関する情報を提供されています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもや保護者に、養育・支援について説明する時は、複数人での対応を心がけられており、誤解を防ぎ、理解を深めることができるようにされています。説明・面談は記録に残され、職員間で共有されています。</p> <p>○理解が難しい場合は、絵図で説明したり、詳しい行政の職員にも同席を求め、自己決定と権利が尊重されるように配慮されています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○地域・家庭への移行時には、プロフィールや個人データ、引き継ぎ書を渡し、情報提供されています。</p>		

○退所後の相談方法や担当者等について明文化した文書の作成が望まれます。		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○個人面談を行うなど、子ども達の満足向上に向けて情報収集に努められています。</p> <p>○ニーズの分析や検討を進められ、対応が必要なケースには、具体的な改善策を立てられるよう期待します。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○保護者が意見を出しやすいように、苦情記入カードの配布や、匿名のアンケートを実施されています。</p> <p>○苦情や要望に応える仕組みを、子どもの視点に立って周知することが望まれます。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○相談室や宿泊棟の個室等を利用し、子ども達が必要に応じて、相談や意見を述べやすい環境づくりがされています。</p> <p>○相談方法の選択肢が沢山あり、相談する人も選択出来る事は重要です。その内容を文書で周知することが望まれます。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの意見を尊重する体制として、意見箱を各グループホームにしています。少人数のホームでは、子どもの意見を職員が直接、聞く時間を設けています。</p> <p>○さまざまな出来事について、日誌等に記録されています。養育マニュアルがあり、職員はケース検討などで子ども支援の振り返りができています。</p> <p>○改善点を検討し、「養育マニュアル」の見直しを定期的にされることを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○養育支援について安全確保のマニュアルやヒヤリハットの収集がされています。安全管理を目的とする衛生委員会が月に1回開催されています。</p> <p>○リスクマネジメントの責任者を施設長として、検討会や研修会が行われています。薬品管理、子どもの事故などについて、ヒヤリハット集での要因分析で、対策を講じています。</p> <p>○職員は事故報告書などの記録によって、職員相互で事故分析や防止対策が検討されています。</p>		

ます。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○感染症予防のため、衛生委員会が定期的に開催され、産業医を中心として、施設全体の感染症対策が検討されています。</p> <p>○衛生委員会で検討された内容が、各グループホームに持ち帰り、安全と衛生に関する研修が行われています。</p> <p>○感染症予防マニュアルや汚物処理マニュアルが作成されています。職員だけではなく、子どもたちにも理解できるよう各グループホームに掲示されています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○災害対策として、毎月、避難訓練がされています。災害時の緊急連絡網や不在者（職員、子ども）の確認体制などの対策がされています。</p> <p>○備蓄品も増加されて、調理部でリストを作成し、管理されています。</p> <p>○「事業継続計画」(BCP)について、子ども職員の安否確認や、災害時避難先、経路の確保、他施設や周辺住民との連携など体制の充実が期待されます。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○養育支援の標準的な実施方法は「養育マニュアル」として、文書化され、活用されています。</p> <p>○新人や実習生に対しても、養育マニュアル等について、研修がなされています。子どものプライバシー保護に関して養育マニュアルに記載されています。</p> <p>○主任指導員や主任保育士が実施の水準を確認するために定期的に点検を行っています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○定期的に養育支援の標準的な実施方法と、支援内容、支援計画などについて、定期的(年2回)に見直しがされています。</p> <p>○検討会には担当心理士(4名)や児童相談所職員が参加し、内容を検討しています。検証や見直しには、子どもの意見が反映されています。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計が策定されている。		

42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○自立支援計画作成の際のアセスメントと自立支援計画について、自立支援計画の作成責任者を置いています。</p> <p>○アセスメント手法を周知され、シートを活用しています。個別ケースでの検討会には施設の多職種の職員が参加しています。</p> <p>○子どもの担当者や心理職、保育士などから具体的な子どものニーズが検討されています。</p> <p>○支援困難ケースについても施設長をはじめ、個別対応職員や家庭支援専門員、里親担当など多くの職種の方が参加して評価、見直しなどに取組まれています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○自立支援計画の定期的な見直しが年2回開催されています。</p> <p>○自立支援計画が計画どおりできているか定期的に確認する仕組みはありますが、PDCAサイクルの確認と子どもの課題変化やニーズの緊急な変更について、取組が望まれます。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○養育支援の実施記録はネットワークシステムにより、支援関係者が情報を共有できる体制ができています。</p> <p>○記録要領の研修やOJTで要領が全職員に伝えられ、記録の共有がされています。心理士や担当以外の職員や管理者も記録を確認して、継続的な支援に役立っています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの記録の管理体制について、法人の個人情報保護規定により記録の保管がされています。</p> <p>○記録簿などはカギのかかる場所で保管され、不適正な利用への対応ルールが文書で示されています。</p> <p>○情報の開示や個人情報開示の取扱いなど子どもや保護者への周知について、検討の余地があります。</p>		

## 内容評価基準（25 項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの権利擁護		
A①	A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの権利擁護を担当する部署として権利擁護委員会があり、子ども支援について、定期的に内部点検がされています。</p> <p>○職員研修では虐待防止や権利擁護について、子どもへの性的虐待防止を始め心理士を中心に内部の職員研修が開催されています。</p> <p>○権利ノートの活用や職員の外部研修への参加を進めています。又、職員の自己チェックや大学教員をスーパーバイザーとしたケース検討会が毎月、開催されています。</p>		
A-1-(2) 権利について理解を促す取組		
A②	A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの権利の理解について、権利ノートなどを利用して子どもと共にグループホームで研修がされています。</p> <p>○心理士が中心となって「身体の話」を子どもに行い、性的虐待防止への取組がされています。</p> <p>○子どもの年齢に配慮した資料や研修の組み方について検討の余地があります。子どもへの研修の工夫と理解度を知るアンケートの実施などを期待します。</p>		
A-1-(3) 生き立ちを振り返る取組		
A③	A-1-(3)-① 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの家族や生き立ちなどを把握するために児童相談所と協力して、子ども個人のライフストーリーワークを行っています。</p> <p>○子どもに家族関係の問題を伝える際は、関係者が内容を共有し、心理士の協力を得て伝えています。</p> <p>○家族のことなどを子どもに伝えた後のフォローもされています。</p> <p>○子どもの育ちと家族関係などについて、心理職員は県外の外部研修に参加して、外の職員に伝達研修を行っています。</p> <p>○園内で作られた成長記録やアルバムは卒園時に手渡されています。</p>		

A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等		
A④	A-1-(4)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの権利の理解について、権利ノートなどを利用して子どもと共にグループホームで研修がされています。</p> <p>○心理士が中心となって「身体の話」を子どもに行い、性的虐待防止への取り組みがされています。</p> <p>○子どもの年齢に配慮した資料や研修の組み方について検討の余地があります。子どもへの研修の工夫と理解度を知るアンケートの実施などを期待します。</p>		
A-1-(5) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑤	A-1-(5)-① 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもへの意向や主体性の尊重に関して、グループホームの生活で子どもの意向を取り入れた生活リズムや主体性の尊重が図られています。</p> <p>○学習や塾、習い事など子どもたちの希望に則して、実施されています。子どもたちの金銭管理の方法と習慣づけについて、職員間で取り組んでいます。個別の意見を取入れる工夫がされています。</p>		
A-1-(6) 支援の継続性とアフターケア		
A⑥	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○支援の継続性について、子どもの入退所の際は、事前情報の提供や退所後の不安への軽減を考えて、文書や言葉で伝えられています。</p> <p>○退所に向けて、事前準備として生活訓練室で宿泊体験などがされています。退所後の個別対応職員を中心に退所後の支援（就職や住宅支援）が行われています。</p>		
A⑦	A-1-(6)-② 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○退所にあたり子どもの不安を和らげるため、金銭管理や社会生活適用への取組が生活支援室を利用して行われています。</p> <p>○主に個別支援担当者が中心となり退所後の様々な支援を行い、仕事や一人暮らしの不安などへの情報提供や退所後の相談体制があります。</p> <p>○事業計画に記載して、卒園者のその後の生活実態の把握を進めています。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑧	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの希望や気持ち、意見を聴くために年1回、生活について子どもアンケートと面接が行われています。</p> <p>○定期的な個別面談などを通して、生活を快適にできる支援体制がとられています。</p> <p>○職員が宿直の際に子どもから話を聞く時間をとり、家族、学校のことなど相談がしやすい体制があります。</p>		
A⑨	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子ども一人ひとりのニーズの充足について小単位の家庭的支援で、個別対応ができるようになっています。</p> <p>○グループホームでも小規模施設でも、子どもたちの生活上の希望が実現できる体制になっています。</p> <p>○居室は全員が個室体制になっています。プライバシーや自分の時間が持てるようになっています。小さな子どもには添い寝などの安心感を保てる努力がされています。</p>		
A⑩	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子ども6~8人に職員3人制で子どもとの関わり、子どもに自己肯定感が育つように個別相談の時間をとる支援がされています。</p> <p>○小規模化で小さな単位の生活になり生活時間が塾や部活、アルバイトなどで子ども主体の流れになっています。</p> <p>○将来の自立に向けて、職場体験や社会関係などの経験を増やす努力が行われています。</p>		
A⑪	A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○様々な体験や人との交流を通して、子どもの発達を保障するために体育施設や用具、学習機会の提供がされています。</p> <p>○大学生ボランティアによる学習支援があり、月2回学習支援がされています。子どもの希望でボクシング、ギターなどの習い事もされています。</p>		
A⑫	A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○家庭的な小集団単位での生活と個室生活になり、子ども相互の交流や行事など基本的な</p>		

<p>生活習慣が身につくように支援がされています。</p> <p>○身の回りのことや部屋の整頓などで、基本的な習慣が習得できる支援がされています。</p> <p>○高校生以上で携帯電話が持てるため、危機の対応や危機管理について、指導がされています。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A⑬	A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○食堂で作られた食事は各ユニットにあるキッチンで温められています。</p> <p>○栄養士による週間メニューが知らされて、食事への関心を高めています。</p> <p>○食事は各ユニットで家庭的な雰囲気ととられています。定期的に残食状況の確認や嗜好アンケートがとられ、改善を進めています。</p> <p>○座席位置を変えて、食事時間をコミュニケーションの時間として、生かされています。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A⑭	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○高学年の子どもは自ら洗濯を行い、好みの衣類を購入しています。</p> <p>○小中学生は、職員が同伴で購入を行っています。生活上の習慣として、自室での管理や整理が行われています。衣類の整理や実替えなどについて指導がされています。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A⑮	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○各グループホームで個人の個室が提供され、プライバシーが保障されています。</p> <p>○居室の清掃や管理に対して職員が安心した生活の支援を行っています。</p> <p>○日用品をはじめ多くの用品が個人単位にされています。グループホームや地域小規模施設で共用スペースでの過ごし方について職員と共に楽しいものになるように話し合われています。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A⑯	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○看護師の配置はありませんが、薬の服用が必要な子どもがいて、職員が情報を共有して、安全管理に配慮がされています。</p> <p>○感染症対策について、防止マニュアルはありますが、看護師など衛生管理の専門家の知識が期待されます。</p>		
A-2-(6) 性に関する教育		

A⑰	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○定期的に心理士による性教育プログラムとして「身体の話し」の研修が子どもにされています。</p> <p>○4名の心理士による子どもの悩み相談を受ける取組があります。子どもの「性意識」に対するアンケートなどを通じて、性をタブー視しない体制づくりが望まれます。</p>		
A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A⑱	A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○職員が施設小規模化で分散していますが、小規模施設やグループホームの職員は本部職員との連携のもと、子どもの暴力事案に対処しています。</p> <p>○問題行動のあった子どもには心理士を加えて、複数の職員で連携した対応をされています。子どもの不適応行動に対して、心理士の協力を得て、組織的な対応がされています。問題事案の記録が残され、情報の共有がされています。</p>		
A⑲	A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○施設における暴力事案について、施設内だけではなく、外部の児童相談所の協力を得て、協議を行うなど組織的対応がとられています。</p> <p>○施設では事案が発生した場合には、クールダウンできる部屋を用意しています。施設長を中心とした暴力防止対策がとられています。</p>		
A-2-(8) 心理的ケア		
A⑳	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○心理士が4名（正規1）いて、子供の様々な問題に対して手厚い対応がされています。自立支援計画に基づき、心理士による治療プログラムが組まれています。</p> <p>○性教育として「体の話し」が行われ、担当者との連携も行われています。心理士はグループワークや研修会でスーパービジョンを受けられる体制があり、子どもや保護者に支援が行われています。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A㉑	A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子ども各自に個室が用意され、落ち着いた環境で学習できる体制があります。</p> <p>○大学生ボランティアによる学習支援が行われています。日常生活で職員による宿題への対応や特別支援学校への支援がされています。</p>		

A⑳	A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○子どもの進路に対する支援体制として、保護者や学校との連携を行い、子どもの意思を尊重した支援体制がとられています。</p> <p>○進学に際して学費に対する奨学金などの制度の説明がされています。不登校になった子どもへの支援が施設内でされています。地域小規模の子どもがホームの支援を受ける体制があります。</p>		
A㉑	A-2-(9)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○高校生は社会体験としてアルバイトを経験しています。</p> <p>○福岡市技能職連合会が主催する職場体験を勧めています。</p> <p>○高校卒業後の自立に向けた支援として、生活訓練などがされています。</p>		
A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
A㉒	A-2-(10)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○2名の家庭支援専門員がいて、定期的に家族と子どもの意向を伝えられています。</p> <p>○家庭支援専門員を中心として、家族再構築に向けて、関係機関である児童相談所との定期的協議がされています。</p> <p>○施設や学校での出来事を家族に周知され、子どもとの関係作りが行われています。</p>		
A-2-(11) 親子関係の再構築支援		
A㉓	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>○家庭支援専門員の役割が明示され、家族支援が行われています。心理士との連携により家族の再構築に向けた支援に努めています。親子生活訓練室があり、保護者が子供との交流の場として、生かされています。</p>		